



# 根来山げんきの森倶楽部

令和4年 12月作業日誌



**活動日：令和4年12月18日(日) 9:30～15:30 天気：晴れ 倶楽部員：38人**

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

年末年始にかけては厳しい寒さとなりましたね。これはラニーニャ現象によるものだそうです。げんきの森もうっすらと雪化粧。小雪の降る中、精鋭部隊による2022年最後の活動が行われました。

## 伐採はお手の物、被害木も活用へ

### 里山整備

本日は7名で遊歩道沿いの立ち枯れしたクヌギの伐採を行いました。

この日のげんきの森は雪景色。1本目の作業場所は冷たい風が吹きすさぶ日陰なので、みんな早く体を動かして温まりたい！と早速作業に取り掛かります。

プロの手により見事に狙ったとおりの角度に倒されたくぬぎを、炭材用にカットしていきます。作業中は寒さも忘れてがんばり、午前中に3本のクヌギを処理しました。

これらは、カシノナガキクイムシの被害を受けて枯れた木で、断面にはナラ菌の浸食部分が黒く変色していました。げんきの森でも被害が広がっているようです。午後からは門松用の竹を切りに行きました。冬らしい寒さの中、だんだんと年の瀬を感じる作業日となりました。

(神浪 佐知子)



日本最初の植物図鑑  
岩崎瀧園著『本草図譜』

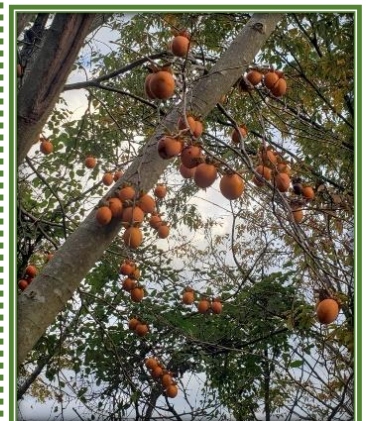


昔は木の実や果物も菓子と考えられていました

### げんきの森ペディア

～Diospyros kaki(神様の食べ物) 柿～  
カキノキ科

柿の歴史は古く、縄文時代の遺跡からも柿の種が発掘されています。また、源氏物語の「桐壺」の中では儀式の献上品として扱われています。これらは野生種の山柿と考えられますが、鎌倉時代の1214年、神奈川県川崎市で突然変異による甘柿が発見され、江戸時代にはたくさんの品種が生まれたそうです。



冬景色を彩る山柿



## 炭出し

本年最後の定例活動は炭出し作業に参加しました。小雪降るなか、いつもより少し少ない7人での作業となりました。

先月に作った炭も良い炭が多かったですが、今回の炭はさらにいい炭が多かったです。焼き上がり手前の炭化しきっていないものや、焼け過ぎて灰になってしまったものが少なく、どの炭材もいい具合に焼き上がっていました。いつもなら20cmの炭材が焼け過ぎて途中で折れて短い炭になっていることが多かったのですが、今回は長いまま炭になっているものがとても多かったです。袋詰めするためにノコギリで切り目を入れてポキンと折って短くするのですが、その断面が黒くつやつやに光ってとてもきれいです。炭と炭を当てたときキンと金属音がするものもあって今回はとてもいい炭ができました。合計230kgできました。皆さんお疲れ様でした。

午後は薪割り作業や道路脇の溝に詰まった落ち葉の除去作業、雨天の炭出し作業時の雨除けタープ張りの試行などを行ない、本日の定例活動は終了しました。

冬の炭焼きは薪ストーブにあたっている感じでとても暖まります。来年もいい炭が焼けますように。（堀田 正二）



## 雪の中での作業は一苦労

### ロゴソール製材

遊歩道においてあるベンチの補修などに使うため、厚さ5cmの板を作りました。今回の杉丸太の製材作業は5名です。

朝方は雪が積もっていて非常に寒い日になりました。作業前点検ではチェーンソーのエンジンが無事にかかり一先ずほっとしました。製材作業に使用するチェーンソーはバー長さが70cmある大型機種で、エンジンは2、3人かかりでリコイルスターターを引いてかけます。使用するガソリン、チェーンオイルは2回挽いたら補充する必要があるものです。

5人がかりで丸太をロゴソールにセットするが、丸太は非常に重く、更に足元は雪とおが粉で滑りやすい状態でした。

本日は直径約40cm、長さ約3mの杉丸太3本をひいて、厚さ約5cmの板15枚を作りました。今回初めてロゴソール作業に参加しました。チェーンソーで丸太を挽く作業よりもチェーンソーの状態、丸太をロゴソールにセットする作業が大変でした。（大田和 康規）





**豚汁作り** 急に冷え込んだ日曜日、今回の活動日も豚汁を作ることになりました。

今回も心強いSさん、Kさん、そして親子で参加のMさん、私の5人での豚汁づくりとなりました。

ガスの近くで少し温まりはしても強い風ですぐにその自分の回りの温かい空気が飛ばされてしまうような、そんな中で野菜を切ったり、薬味のゆずの皮をむいたり、作業を進めます。

私が少し他の作業に回っている間に、お昼前にはもうすっかり他の4名の方で仕上げているので、とても美味しく出来上がった豚汁を私もすっかりごちそうになる形になってしまいました。

寒い中の豚汁、作るのも食べるのもやっぱり最高です。

これから冬場、暫く汁物を作る回が続きます。まだ調理班になった事ないよ～。と仰る方、力仕事はあんまりようせんけど、お料理するのは好きやで～。という方も、ぜひご参加下さい。（森 留津）



美味しくなる呪文

## 赤穂浪士とイノシシの闘いは・・・

### うるし谷整備

寒い、寒い、寒いと言いながら・・・

12月は忠臣蔵の映画を見て楽しんだ世代の人たち5名でイノシシに荒らされた溝の修復作業、大げさに言えばこぶし川の護岸工事を行いました。

あらかじめ準備してあった杭の打ち込みですが、なかなか深くは打ち込めません。位置を変えて再び打ち込むということを何度も繰り返しながらの作業です。次に横



木を並べ、横木が外れないように石を置きます。これを繰り返して午前の作業は終わりました。

午後は3人で横木の所に積んであった石の上うるし谷の盛り上がった部分の土を削り取ってかぶせました。これで本日分の作業約4mの補修は終了しました。

小雪の舞う中、みなさん一生懸命での作業、感謝！感謝！です。（山口 椒）





お正月明けのげんきの森は歩道に散り敷いたコナラの落葉が印象的でした。

一気に落葉してきたようです。

今年から、この落ち葉を袋詰めして全国にお届けする「落ち葉プロジェクト」を開始します。

内容は別紙のとおりです。

みなさんのご協力がないとできないプロジェクトです。

どなたでも取り組める内容なので、ご協力をお願いします。（岡田 和久）

